

# Solid Edge ST3/ST4 ベーシックマスター ST6 対応一覧

2014 年 2 月 20 日

デジタルプロセス株式会社

## はじめに

平素は Solid Edge をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

また「Solid Edge ST3/ST4 ベーシックマスター」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

さて、当初 ST3/ST4 用に執筆した「Solid Edge ST3/ST4 ベーシックマスター」ですが、3次元 CAD の考え方や Solid Edge の基本操作を中心とした内容となっておりますので、ST6 でも十分活用いただけるものでございます。

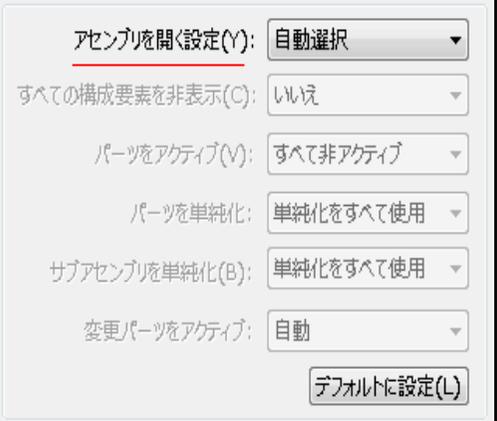
実際 ST6 ではインターフェースに大きな変更はありませんので、大きな違和感なく読み進めていただけるものと存じます。

ただし、ST6 で追加された新機能や細部のメニュー変更の箇所等もいくつかございますので、本資料に関連する部分をまとめました。

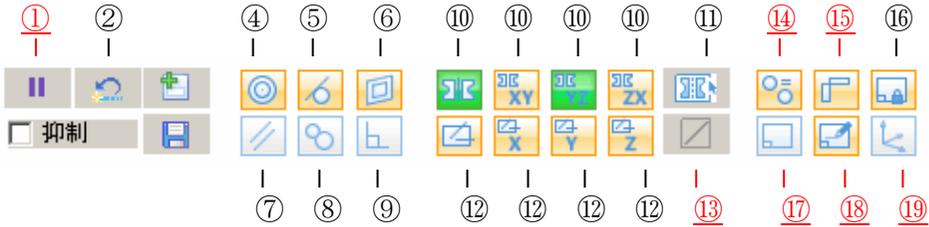
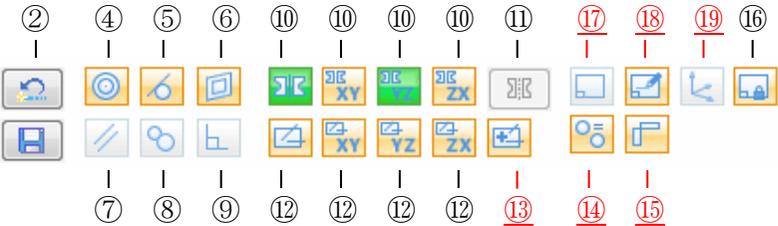
Solid Edge ST6 の修得の際には、書籍に併せて本資料をご活用ください。

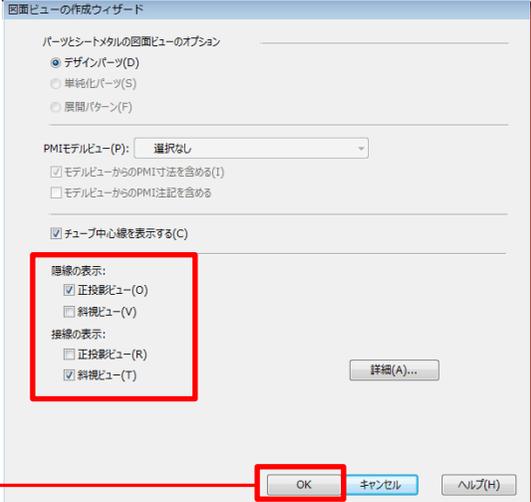
### 本書使用規定

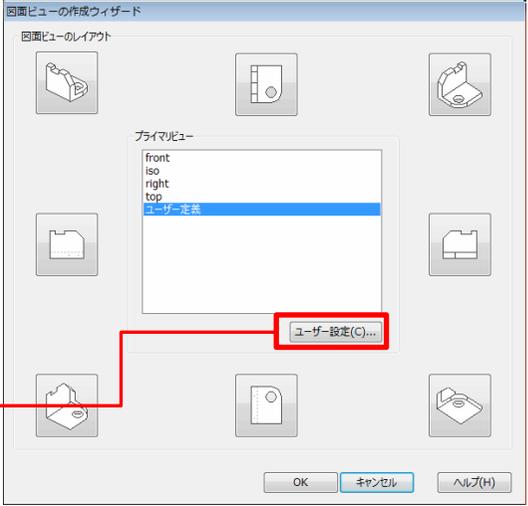
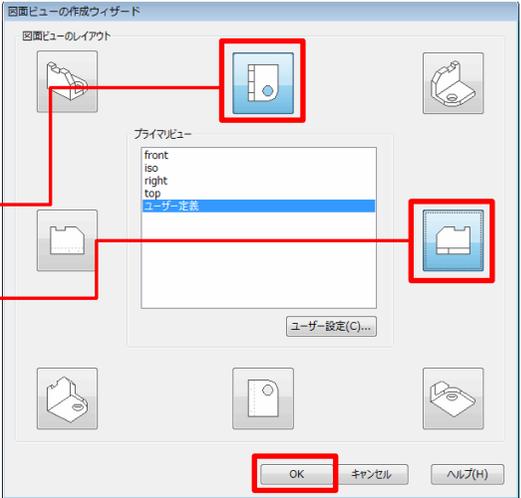
- 本書の著作権は、デジタルプロセス株式会社が保有します。
- 本書の内容を著作者の許可なく、変形/変更/加筆修正/複製/転用/引用/販売など二次利用を禁止します。
- 著作者は、本書記載情報の内容が起因によって発生した一切の問題についての責任を負いません。
- 本書記載情報は著作者の公約または義務を表わすものではありません。
- 本書記載情報につきましては、予告なしに変更することがあります。
- 本規定について同意できない場合は、本書は使用出来ません。
- 本書記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

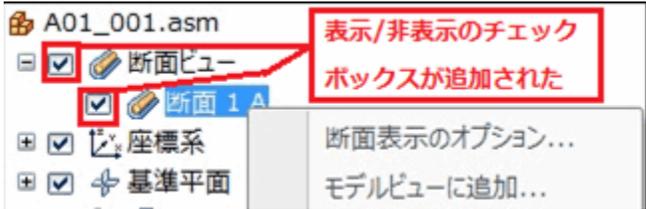
ページ	項目名	相違点
143	02 ファイルの選択	<p><u>大規模アセンブリなどの対応のために、アセンブリの規模別に開き方を指定する機能が追加されました。</u></p> <p><u>アセンブリファイルを開く際のオプション「アセンブリを開く設定」で指定できます。</u></p> <p><u>「アセンブリを開く設定」</u></p> <p>アセンブリファイルを開く際に「アセンブリを開く設定」オプションで「小規模/中規模/大規模アセンブリ」用の設定から適切なものを選択する事で、各オプションを自動的に設定できるようになりました。</p> <p>「アセンブリを開く設定」で「自動選択」を選んだ場合は、開こうとしているアセンブリのアイテム数を基準に「小規模/中規模/大規模アセンブリ」用の設定から適切なものが自動選択されます。</p> <p>なお小規模/中規模/大規模アセンブリ用の各オプションの内容については、「Solid Edge のオプション」で設定出来ます。</p>
144	オプション設定の詳細	<p>新機能追加によりオプションが追加されました。</p>
277	アセンブリの呼び出しオプション	

ページ	項目名	相違点
265	ライブルールについて	<p><u>ファイル全体のライブルールや寸法等を一時的に無効化して移動可能にする機能と、移動対象に関するライブルール等の詳細確認および個別の無効化等が出来る機能が追加されました。</u></p>  <p><u>「ライブルールを抑制」「寸法を緩和」「持続幾何関係を緩和」</u></p> <p>ファイル全体のライブルール、寸法、持続幾何関係を一時的に無効化します。移動に影響を及ぼすものを特定しなくても、移動可能にすることが出来ます。</p> <p><u>「ソリューションマネージャ」</u></p> <p>移動に関する要素に対するライブルール、寸法、持続幾何関係の確認と操作が出来ます。移動に影響を及ぼすものの特定が可能なので該当するライブルール等を個別に無効化して移動可能にしたり、移動したくない面を選択して移動対象から外したりするなども出来ます。</p> <p><u>「自動ソリューションマネージャ」</u></p> <p>チェックボックスがチェックされている時、移動処理の確定後にソリューションマネージャが自動的に起動します。なお形状変更に失敗した際はこのチェックに関係なく、ソリューションマネージャが自動起動します。</p> <p><u>「オプション」</u></p> <p>ソリューションマネージャ内で面の状態を示す色や、ライブルールの表示方法を設定します。</p>

ページ	項目名	相違点
265	ライブ ルール につい て	<p>[ST3/ST4 ベーシックマスター]</p>  <p>③詳細ウィンドウ([Ctrl]+[E]キー) キー</p> <p>[ST6]</p>  <p>①[一時停止/再開]ボタンと③詳細ウィンドウ ([Ctrl]+[E]キー) はソリューションマネージャに統合されました。</p> <p>⑬[ユーザー設定の軸]ボタンは[傾斜した同一平面上の軸を維持]ボタンに変更されました。</p>

ページ	項目名	相違点
344	ビューの作成	<p><u>[ビューウィザード]が「ウィザード形式」から下記の「コマンドリボン」に変更されました。</u></p> <p>各項目に対応するコマンドリボンのアイコンは下記の通りです。</p>  <p>03 作成ウィザード① /詳細設定する</p> <p>04 作成ウィザード②/投影方向を指定する 06 作成ウィザード③/ビューを選択する</p> <p>なお「Solid Edge のオプション」の「図面ビューウィザード」で、ウィザード形式に変更できます。</p>
344	03 作成ウィザード① / 詳細設定する	<p><u>コマンドリボンの「図面ビューウィザードダイアログ」をクリックします。</u></p>  <p>配置される図面ビューの詳細を設定できます。設定変更は配置後も可能なので、ここでは変更せずに<u>[OK]でダイアログを閉じます。</u></p> <p>なにも変更しないで<u>[OK]</u>を選択</p> 

ページ	項目名	相違点
344	04 作成ウィザード② / 投影方向を指定する	<p><u>コマンドリボンの「図面ビューレイアウト」をクリックします。</u></p>  <p>正面図の向きを選びます。 3次元モデルに定義されているビューを選ぶか、3次元モデルを表示して選びます。 ここでは3次元モデルを表示して選択するため、[ユーザー設定]をクリックします。</p>  <p>[ユーザー設定]をクリック</p>
345	06 作成ウィザード③ / ビューを選択する	<p>ここでは[正面ビュー]と共に配置する図面ビューを選択し、<u>[OK]</u>をクリックします。</p> <p><u>上面ビュー</u></p> <p><u>右側面ビュー</u></p> <p><u>正面ビューのボタンは正面ビューの向きを設定するプライマリビューに変更されました。</u></p> 

ページ	項目名	相違点
180	01 単独編集の実行	ショートカットメニューの[ <u>Solid Edge</u> パーツで開く]が[開く]に変更されました。
282	01 パーツを選択する	ショートカットメニューの[ <u>パーツ</u> ヘスクロール]が[指定にスクロール]に変更されました。
301	01 パーツ環境で開く	ショートカットメニューの[ <u>Solid Edge</u> パーツで開く]が[開く]に変更されました。
313	01 表示を切り替える	断面ビューの表示/非表示を切り替える方法が、ショートカットメニューの[ <u>切断を適用</u> ]から <u>チェックボックスをオン/オフする方法</u> に変更されました。 
385	03 寸法表記のタイプを変更する	コマンドバーの[寸法のタイプ]にある[ <u>公差寸法</u> ]が[ <u>単位寸法</u> ]に変更されました。